

令和 3 年度 墨田区立文花中学校（夜間学級） 経営報告書

令和 4 年 3 月 2 5 日

学 校 目 標	『チーム文花中として、文武両道を目指し 自分に誇りの持てる生徒、生徒の誇れる学校』づくり
目 指 す 学 校 像	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「楽しい」「できる」が実感でき、生徒の自主的な学習意欲を育む学校 ・ チーム文花中として学校・家庭・地域が一つになって共に歩む学校 ・ I C T 機器や一人一台のタブレットを効果的に活用した ICT 教育を推進する学校 ・ 昼間学級との交流等、人権尊重、異文化理解を積極的に推進する学校
目 指 す 子 供 像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の授業を大切にし、自ら計画し、進んで学びに向かう生徒 ・ 人権を尊重し、互いに協力しあい、自他を大切にする生徒 ・ 規範意識を身に付け、責任を果たし、社会に貢献できる生徒 ・ 文武両道の精神を持ち、心身共に健康で何事にも粘り強く取り組む生徒
目 指 す 教 師 像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に教える「プロ」として、授業力・生徒理解力・危機管理能力等、自らの資質・能力の向上に努める。 ・ I C T を活用した授業研究等、生徒の意欲・関心を引きだし、今年度からの新学習指導要領に向けた校内研修を計画・実践する。 ・ キャリアプランによる計画的な研修への参加を推進する。 ・ 公務員としての服務を守り、尊敬される教職員を目指す。（率先垂範） ・ 働き方改革を視野に入れ、組織で効率よく仕事を行うように努める。（会議は 1 時間）

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の T T 授業、英語の 2 クラス 3 展開授業により、生徒の習熟度に応じた手厚い指導が行え、定期考査での得点の上昇につながった。さらなる向上を目指して改善と実践に努めていく。 ○通常学級 3 学級 5 分割、日本語学級 1 学級 4 分割の計 9 クラス編制とし、日本語の習得状況や学力等で適切なクラスに振り分け、個々の能力に応じたきめ細かな指導を実践している。 ○学力の停滞や遅滞、日本語の未習熟等について、補講や取り出し授業を実施することにより、学習面を補う手立てを講じている。 ○生徒アンケートによる授業に対する肯定的な評価は、実に 9 6 % にのぼり、概ね高評価を得ており、今後もこれまでの取組を継続していく所存である。 ○今年度新たに発足した G I G A スクール構想推進委員会を中心に幾度となく研修を重ね、全教員の I C T スキルが確実に向上している。ほぼ全ての授業で I C T 機器を活用している他、コロナ不安等を理由に登校できない生徒へのオンライン授業も実施している。 	B	B

様式 4

<p>学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。</p>	<p>B</p>	<p>○毎月1回、学級別会議を開催し、特別な支援を要する生徒への個別の対応について具体的な検討を行っている。 ○月1回開催している特別支援委員会で個別の指導状況、経過、改善等について協議し、スクールカウンセラーと連携しながら、全教職員への情報共有を図るとともに、保護者との連絡を緊密に行って、理解と協力を仰いでいる。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。</p>	<p>B</p>	<p>○コロナ禍の影響で、年1～2回予定していた卒業生や高校の先生より学ぶ会の実施は叶わなかったが、複数の高校訪問の実施を実現することができた。 ○年に3回行われる教育相談の他、3年生に対する進路説明会や面接指導、随時対応する個別相談等により、きめ細かな進路指導を実践している。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。</p>	<p>B</p>	<p>○年3回の研究授業と研究協議会の実施、適宜行っている教員相互の指導法や教材作成等の情報交換により、日本語に限らず、全教科において、絶えず授業改善及び授業力向上を図っている。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>		<p>・いつも夜間学級の一人一人に目を向けた指導には感心させられます。 ・先生方の熱意と教育環境が生徒のやる気を引き出しているようです。ありがとうございます。</p>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	<p>学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。</p>	<p>B</p>	<p>○生活指導部会を中心に、生徒の問題行動や不登校傾向等の迅速かつ正確な状況把握に努め、適切な早期対応やアフターケア等を心がけている。 ○全教職員が部活動顧問を担当しており、生徒の加入率は全体の6割強である。コロナ禍の中、休止期間が多かったが実施可能期間には、対策に万全を期して、安全に活動を行っている。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
	<p>学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。</p>	<p>B</p>	<p>○生徒会長・副会長を中心に、校内及び東京都夜間中学校連合の行事やその他諸活動に取り組み、それぞれの成果が強く感じられた。アンケートによる肯定的な評価は90%超に達している。 ○日本での基本的な生活習慣の徹底を図り、良好な状態を維持している。アンケートによる肯定的な評価は80%超である。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
	<p>学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。</p>	<p>B</p>	<p>○毎月各1回の安全指導と避難訓練のほか、自転車のマナー等の交通安全教育や情報モラル等の安全教室を実施した。また、向島警察署スクールサポーターを招聘してセーフティ教室を開催し、特殊詐欺等の防犯意識向上を図った。 ○毎日の検温や消毒作業、距離の確保、分散給食及び3方プロテクトガード設置による飛沫拡散防止等、徹底した感染防止対策を継続している。 ○全教職員による情報共有の下、適宜面談を実施し、生徒の安全・安心な学校生活を守れるよう、諸問題に対応している。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
	<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>		<p>・教育以外で気を付ける事の多いコロナ禍で大変だなと思います。 ・問題行動の処置という狭い考えでなく、本来の生活指導がなされているように感じられました。</p>		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程検討委員会を年3回開催し、実施状況の確認や調整等を行い、年間を通じ全員一丸となって遂行にあたった。 ○学級別会議・分掌会議を経て、企画会議、職員会議と組織的・系統的に学校運営を行った。 	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した抹茶体験教室や箏・尺八・三味線奏者による伝統音楽鑑賞教室を開催し、日本の伝統文化への理解を図り、好評を博した。 ○3年生の奈良・京都修学旅行や全生徒対象の鎌倉移動教室を通じて、古都の寺社仏閣や様々な展示品等を間近に観る貴重な機会を与えられた。 	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染防止対策、ICT関連機器や学習用図書購入等、教育環境の充実に努めた。 ○年3回の一斉点検を行った他、随時不備がある場合は、直ちに補充や修繕等を行い、停滞なきよう万全を期した。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化の体験や修学旅行での体験をコロナ禍でできた事はとても良かったと思います。 ・先生方のご尽力と少人数も相俟って、ある意味、教育の理想型が見られるようです。 			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事実施報告や諸連絡等でホームページを年数十回更新し、外部への情報発信を行った。 ○学校運営連絡協議会を通じて、参加された委員の方々の貴重なご意見を学校運営に反映させるよう努めた。 	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍のため例年通りには行えなかったが、昼間1年生に夜間学級の映像を観賞してもらう形で実施した ○実施回数は例年の半分程度であったが太鼓部に外部指導員2名が配置され、指導内容が非常に充実し、日本文化や伝統への理解が大いに深まった。 ○コロナ禍の影響で、地域の方々との協力や地域活動への貢献を果たせなかったが、地域の皆様のご支援やご協力があったからこそ夜間学級であることの指導をしっかりと継続していく所存である。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・常に思っていますが、夜間と昼間との交流は多様性という意味でお互いに貴重な経験になると思います。 ・学校評価の公表が唱えられていますが、HPを数十回更新する学校も少ないでしょう。今後もお続けください。 			

様式 4

総 評	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none">・今回は夜間学級の状況を拝見できませんでしたので、意見の記入はできませんでした。上欄の目標は、昼間学級のまる写しでなく、夜間学級としての目標が少しあっても良いのかなと思います。（教員評価では昼間学級との交流です）・この2年間、子ども達の学校生活も新型コロナ感染防止の為、様々な制限が課せられていることでしょう。行事、生徒達の活動・交流、又それは子ども同士の会話・遊びにも及んでいます。そんな中、今回の「令和3年度生徒意識調査」と「令和3年度保護者アンケート結果」に目を通し、ほとんどの結果が肯定的な見方が多かった事に安堵しました。このパンデミックの体験は、彼らが未来を生きる糧となることでしょう。私たちの未来も明るく見えます。先生皆様方のご指導に感謝の一言です。
--------	----------------	--

2 令和3年度学校評価のまとめ

今年度も昨年度に引き続き、コロナ変異株の蔓延に伴う学校教育への影響も非常に甚大であり、年度当初の計画は、連合体育大会をはじめ、数々の行事の中止や延期、代替行事への変更を余儀なくされた。学校公開の機会も得ることはできず、PTAの皆様や地域の方々に夜間学級の現状を十分にお伝えできなかったことは非常に残念であった。

しかし、都や区のコロナ対策ガイドラインに沿って、可能な限りの感染防止対策を講じながら、修学旅行や移動教室等が無事に実施し終えたことは、この上ない喜びである。日常生活においても、生徒たちがコロナ感染、罹患、発症することなく、日々元気に学校生活を過ごし、意欲的に学習や部活動に励んでいたことも幸甚であった。これも、日頃から夜間学級の教育活動に惜しみなくご支援、御協力をしてくださっているPTA、地域の皆様方のお陰であると心から深く感謝している。

来年度も、今回頂いた評価やご意見を十分に念頭に置いて、反省点の改善に真摯に取り組み、GIGAスクール構想の一層の推進等、さらなる向上と発展を目指して、教職員全員が一丸となって取り組んでいく所存である。

以上の通り報告いたします。

墨田区立文花中学校 校長 稲垣 吉実 公印